

布引観音温泉

Nunobiki Kannon Onsen
(長野県東御市)



外観

「牛にひかれて善光寺まいり。」なんのことやらと思って調べてみたら、由来がわかった。その昔、無信心な老婆がいた。彼女が白い布を洗濯して干すために木にかけようとしていると、突然牛が現れて布を角に引っかけて走り出した。彼女は布を取り戻そうとして布をつかむ。しかし、牛に引きずられ、なんと善光寺まで来てしまう。その距離何と 60km。そして善光寺に来た途端、牛は姿を消す。彼女は牛が仏の化身だと知り、悔い改めて信仰深くなったという。

真偽のほどは知らないが、そんな伝説のある布引観音の近くにあるのが今回紹介する布引観音温泉だ。布引観音温泉は宿泊施設であるが、日帰り入浴も可能だ。

客室は和室のみ。衛星放送が観られるテレビ、湯沸かしポット、ドライヤー、浴衣、固形石鹸、リンスインシャンプー、ハミガキセット、ハンドタオルが完備している。また、別棟にペットと泊まれる客室もある。

浴室はフロントの横にある。浴室は極めてシンプルだが、趣がある。少し暗く、湯治場の雰囲気だ。両側に洗い場があるが、右側に 3 か所のシャワーヘッド付水栓があり、右側にはカラが 6 か所ほどある。お勤めは浴槽の脇に陣取って、浴槽から湯をくみ上げて体を洗う方法。温泉の恩恵を受けられるし、手っ取り早い。

真ん中にある浴槽は 15 人くらいが入れる大きさだ。湯は少し濁っており、温泉特有の匂いもある。浴槽の中に入ると低面や壁面がぬるぬるしているのに気づく。これをあまりごしごしこすると、湯の花がはげ落ちて浮遊してくるので注意しよう。湯温はやや熱めか適温だ。

右奥手には第 2 の浴槽がある。これには深層水と呼ばれる井戸水で満たされている。水温は 20℃前後だろうか。この水風呂と温泉を交互に利用すれば、血液の循環を高めて健康増進に役立つのだという。

布引観音温泉には地元の客が夜だけでなく朝風呂のためにやってくるという。それだけこの温泉が生活の一部として必要とされている証である。

ちなみに布引観音温泉はナトリウム塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、リウマチ、やけど、きりきず、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱体質などに効くという。

布引観音温泉では 2015 年 3 月に休業し、4 月にリニューアルオープンする予定だ。趣のある古い浴室がなくなるのはちょっと寂しいが、新しい浴室にも期待したい。

- **名称**：布引観音温泉
- **所在地**：長野県東御市布下 489-1
- **電話**：0268-67-3434
- **営業時間**：7：00～10：30、13：00～21：00
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人 400 円、小人 200 円、宿泊客は無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2015 年 2 月 20 日（金）、2015 年 2 月 21 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部